

消化性潰瘍

監修／島根県斐川中央クリニック 院長 下手 公一

症状と所見

処方

比較的体力がある（実証）

便秘、のぼせ感、メタボリック症候群

大柴胡湯

顔面紅潮、口内炎

黄連解毒湯

体力は中程度（中間証）

基本処方
（嘔気、食欲不振）

柴胡桂枝湯

心窩部のつかえ、嘔気、軟便

半夏瀉心湯・茯苓飲

胃酸過多、腹直筋拘急

四逆散

体力がない（虚証）

胃内停滞感、胸やけ、食欲不振

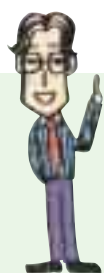
六君子湯（四君子湯）

神経質、胃痛

安中散

冷え、臍上悸

人參湯



1 point ワンポイント・アドバイス

胃潰瘍や十二指腸潰瘍などの消化性潰瘍の治療は、急性期には酸分泌を抑えるH₂ブロッカーやプロトンポンプ阻害薬が劇的な効果を示しますが、寛解期には胃粘膜の防御能を増強させ、潰瘍の治癒促進や再発防止が期待される漢方薬の併用が有用です。また、消化性潰瘍の発症にはストレスも関与していることが多く、理気剤の使用も効果的です。